

平成16年度試験研究成果書

区分	普及	題名	品種 盆需要を補完する早生りんどう「早生3S」			
〔要約〕「早生3S」は親系統の選抜を繰り返しながら特性の安定化を図ることにより育成された品種であり、開花期が「マシリィ」より5日程度遅く、「イーハトーヴォ」より10日程度早い、青色の早生品種である。						
キーワード	品種	りんどう	早生	園芸畑作部	花き研究室	

1 背景とねらい

盆需要期の主力品種は県南部で「イーハトーヴォ」、県北～県中部にかけては「マシリィ」となっているが、気候によっては「マシリィ」の開花が早く盆需要期から外れることがある。そのため盆需要期に安定して出荷するためには早生品種が複数必要となることから、これらに続く品種の必要性が高まっている。そこで当該時期に開花する「早生3」の親株の固定度を高め、F1としての形質等の特性の安定化を図った。

2 成果の内容

(1) 来歴

- ア エゾりんどうである「えぞ早生」系統を母系とし、また、エゾオヤマりんどうからの選抜育成系統である「AZA」系統を父系として交配されたF1品種である。
- イ 昭和57年に交配された以後、親系統である「えぞ早生」と「AZA」の系統選抜を繰り返しながら、系統間交配及びそのF1品種の特性調査を行なってきたが、目標とする特性に達し、その特性が安定していることを確認した。

(2) 特性概要

- ア 開花期は「マシリィ」より5日程度遅く、「イーハトーヴォ」より10日程度早い。(表1)
- イ 花色は鮮青紫で「マシリィ」「イーハトーヴォ」よりやや濃く、花段数が若干多い。(表1)
- ウ 草丈は「マシリィ」「イーハトーヴォ」よりやや高めで節数はやや少ない。(表1)
- エ 茎立数は中程度で茎は若干太く、葉はやや大きい。(表1)
- オ 従来の早生3と比較し、開花期が若干早く、また、花色が濃く花冠外面の斑点が目立たない。(表2, 3)

3 成果活用上の留意事項

- (1) 地域により早生品種の構成割合を考慮すること。

4 成果の活用方法等

- (1) 適用地帯または対象者等
県下全域
- (2) 期待する活用効果
普及見込み面積 10ha

5 当該事項に係る試験研究課題

- (191) りんどうの品種育成

6 参考文献・資料

- (1) 花専科 育種と栽培りんどう 吉池貞蔵編著
- (2) 昭和59年～63年度 花き試験成績書 岩手県園芸試験場
- (3) 平成4年～7年度 花き品種開発試験成績書 岩手県園芸試験場 野菜花き部

7 試験成績の概要 (具体的なデータ)

表1 「早生3S」品種特性(平成16年 3年株)

品 種	開花期 ²⁾ (月・半旬)	花 色 ³⁾	花段数	総花数 (cm)	草 丈	節 数
早生3S	7・6	鮮青紫(8005)	5.3	28.6	100.7	19.5
マシリイ ¹⁾	7・5	青紫色(8009)	4.0	27.1	92.0	22.1
イーハトーヴォ ¹⁾	8・2	明青紫(8004)	4.1	44.4	100.0	25.9

品 種	茎立数	茎の太さ (mm)	葉の大きさ(cm) ⁴⁾		花冠の大きさ(cm)	
			葉長	葉幅	長さ	直径
早生3S	8.6	5.1	8.7	3.2	5.1	1.4
マシリイ ¹⁾	5.2	4.3	8.4	2.5	5.2	1.3
イーハトーヴォ ¹⁾	12.4	4.2	7.8	2.6	4.8	1.4

- 1) マシリイ、イーハトーヴォは品種登録時のデータ
- 2) 開花期：全茎数の50%が頂花まで開花した時期
- 3) 花管外面の花色、日本園芸植物標準色票による
- 4) 草丈の2/3位置の葉を測定

表2 年次別開花期 (農業研究センター)

品 種	H 4	H 5	H16
早生3S			7/27
早生3	8・3	8・3	
マシリイ	8・1	8・1	7/22
イーハトーヴォ	8・3	8・3	8/ 4

※H4, 5は半旬別

表3 過去の「早生3」との形質の比較

品 種	花色 ¹⁾	花の斑点	
		発生程度	ばらつき
早生3S (H16)	6.5	少	○(濃青紫)
早生3 (H 4)	5.5	少	△

1) りんどう花色票カラーチャートによる

<参考データ>

